

# 万場高校進路だより

平成24年 1月11日(火)

第7号

発行  
進路指導部

0274(57)3119

## ◎ 3年進路状況（報告）

平成23年度進路状況は、東日本大震災の影響もあり、7・8月の求人票受入出だしの悪さや求人数減少（事業所一社あたりの定員減少）・取り消し、大学・専門学校の春季オープンキャンパス自粛などネガティブなことが多々あり、見通しが立てづらい状況の進路指導でした。地道な頑張りや生徒自身の手堅い進路選択もあり、裏面に載せた進路結果となりました。

進路指導主事を数年担当して感じるがあります。4月に始まる新学期から数えて10ヶ月程度で3年生の生徒の変化と成長に目を見張るものを感じます。それぞれが進路達成のため初めて本気で自分と向き合い、自己理解をする。外部講師の講義や進路ガイダンスを段階的に重ねていくうちに焦点が定まった顔つきにかわっていく。進路行事を協力していただいた講師の方たちの話に耳をよく傾けるようになる。夏期休業中には履歴書の作成に時間をかけ、3学年の先生方から書き方の注意を受け何度も訂正して、今まで他者の目線でモノを感じていなかったことに気づく。面接練習に励み、夏休みは毎日学校に通う。9月16日以降に採用試験が始まる。通常、採用試験後1週間から10日程度で合否の通知が学校に届くが、努力した生徒ほど最高のうれしさを表現すると同時に脱力感のようなものをあらわにする。

今まで色々なことがなんとなくうまくいったように感じたことが進路活動を通じて迷い・焦り・意思決定と段階を踏み、真剣にものごとに取り組み人生のステップアップをしていく道程を通る。1・2年生のみなさん、早かれ遅かれ必ず仕事に就きます。進路指導部で企画した進路関係の行事を前向きに捉えて、自分の将来を考えるきっかけにしてください。

### ○ 広がる返済不要の予約型奨学金

大学受験生を対象に合格決定前に奨学金に内定を出す予約採用給付奨学金制度を新設する大学が相次いでいる。お茶の水女子大は国立大で初めて導入し、11年度入試に向けて募集を行っている。経済的な理由から進学が困難な受験生を支援することや少子化の中で優秀な人材を引きつけようとする狙いである。予約採用給付奨学金は一定の基準（家計の収入・高校の評定など）を満たして採用された場合、実際に入学すれば返済不要の奨学金が支給される制度。受験前に入学後の受給者を内定するため、進学前から学費負担軽減の見通しを立てることができる。私立大で利用した場合、授業料が国公立大並となる学校もある。返済の必要もないことから借金となる貸与型と違い、将来への不安も軽くすることができる。進学を考える受験生の両親にとって心強い味方となり、今後増えていくことが想定される。

大学・専門学校 NEWS&EVENTS より